

令和 7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年 6月末現在)

帯広労働基準監督署

区分 業種別		令和 7年 (6月末)			令和 6年 同 期			対 前 年		本年分 業種 割合 (%)
		死 亡	休業 4 日 以上	合 計	死 亡	休業 4 日 以上	合 計	増 減 数	増減率 (%)	
全 産 業 合 計		5	200 (6)	205 (6)	1	195 (8)	196 (8)	9	4.6	100.0
除 く 鉱 業 計		5	200 (6)	205 (6)	1	195 (8)	196 (8)	9	4.6	100.0
製 造 業			40	40		25 (2)	25 (2)	15	60.0	19.5
内 訳	食 料 品		19	19		14	14	5	35.7	9.3
	木 材 木 製 品		3	3		4	4	-1	-25.0	1.5
	紙 ・ パ ル プ									
	窯 業 ・ 土 石									
	金 属 ・ 機 械		7	7		3	3	4	133.3	3.4
	そ の 他		11	11		4 (2)	4 (2)	7	175.0	5.4
鉱 業										
土 石 採 取 業			2	2		3	3	-1	-33.3	1.0
建 設 業		3	15	18		23	23	-5	-21.7	8.8
内 訳	土 木 工 事 業	2	6	8		10	10	-2	-20.0	3.9
	建 築 工 事 業	1	4	5		4	4	1	25.0	2.4
	木 造 建 築 業		2	2		3	3	-1	-33.3	1.0
	そ の 他		3	3		6	6	-3	-50.0	1.5
道 路 貨 物 運 送 業			27 (3)	27 (3)		19 (1)	19 (1)	8	42.1	13.2
その他の運輸業			4 (1)	4 (1)		1	1	3	300.0	2.0
陸上貨物取扱業			1	1				1		0.5
港 湾 荷 役 業			2	2		1	1	1	100.0	1.0
林 業		1	4	5		8	8	-3	-37.5	2.4
漁 業			2	2				2		1.0
卸 売 ・ 小 売 業			26	26		27	27	-1	-3.7	12.7
清 掃 業		1	6	7		10 (2)	10 (2)	-3	-30.0	3.4
そ の 他 の 事 業			71 (2)	71 (2)	1	78 (3)	79 (3)	-8	-10.1	34.6
内 訳	農 業		3	3		7	7	-4	-57.1	1.5
	畜 産 業		16	16	1	9	10	6	60.0	7.8
	接 客 娛 楽 業		5	5		7	7	-2	-28.6	2.4
	農 業 協 同 組 合		3	3		5	5	-2	-40.0	1.5
	そ の 他		44 (2)	44 (2)		50 (3)	50 (3)	-6	-12.0	21.5

※本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。

※()内は、交通事故内数です。

令和7年 死亡災害発生状況

帛広労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事故型の	起因物	災害の状況
2月	9時	建築工事業	墜落・転落の 2メートル以上のもの	開口部	食料品製造工場の新築工事現場の天井裏で、被災者は天井断熱パネルの吊り具の点検作業を行っていたが、ブルーシート養生が施された開口部（地上高さ5.8m）の真下の床面に倒れている状態で発見されたもの。
2月	13時	その他の建設業	2メートル未満の 墜落・転落	移動式クレーン	被災者は、会社の土場で移動式クレーン（クレーン付きトラック）に積もった雪を除雪する作業に従事していたが、荷台とアウトリガーの間にはさまった状態で発見されたもの。
2月	10時	木材伐出業	激突され	立木等	私有林において、被災者はチェーンソーで立木の伐倒作業中を行っていたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が側にいた被災者に激突したものの。
5月	8時	土木工事業	その他の転倒	積込・運搬機械	建築工事の基礎工事で、被災者はブルドーザーによる盛土の敷き均し作業を行っていたが、ブルドーザーを停止させ、履帯の上に立ち姿勢を変えたところ、ブルドーザーが前進したため、履帯上で転倒し、地面に墜落したものの。
6月	13時	清掃・畜業	はさまれ、巻	動力伝導機	被災者は、観覧車の点検台（地上から目測10メートル）の上で、観覧車を運転した状態で、動力を受ける内輪に注油作業をしていたところ、動力を伝達する歯車と内輪との間に左肩から左胸を挟まれ、死亡したものの。

※ 本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。